



## 恐怖漫画家・椋図かずお デジタルお化け屋敷をプロデュース!

1995年以降、休筆を続けている漫画家・椋図かずお。

一部ファンの間では預言者と呼ばれるほど先見の目を持つ椋図は、10年ほど前からデジタルコンテンツに積極的に参加。

2014年7月、アバターコミュニケーションアプリLINE PLAYで、デジタルお化け屋敷「恐怖の椋図ハウス」をプロデュース!

■ 怖い+可愛い=怖い！LINE PLAYに公式ルーム「恐怖の榎図ハウス」が登場！

LINE PLAY 公式ルーム「恐怖の榎図ハウス」ガチャ

1回 2,000 ジェム（200 円相当）でアイテムが1つ当たります。全 26 種類。

➤ ガチャアイテム一例



グワシ!!でか手袋、恐怖顔お面、怖い音エフェクトなど



まことちゃんが隠れたベッド



へび女の井戸風お風呂



揺れている関谷ロッカー



お座り犬お面少女



アイテムを集めて、友だちが壊れるぐらい怖がらせよう！

■ 榎図かずおインタビュー！



企画から誕生秘話まで！榎図ハウスでとことん語って頂きました！

<http://talked.jp/03/>

(c) KAZUO UMEZZ/SHOGAKUKAN

## ■ LINE PLAY とは



“LINE PLAY”は、自分好みに着飾ったアバター（キャラクター）を通じて、他ユーザーとの交流を楽しむことができるアバターコミュニケーションアプリです。2012年11月21日のサービス開始以来、グローバルで利用者数1,600万人を擁する世界最大級のアバターコミュニケーション空間へと成長しています。<http://lp.play.line.me/>

2014年7月24日より、LINE株式会社が運営するスマートフォン向けアプリ【LINE PLAY】にて、模図かずお公式ルーム「恐怖の模図ハウス」として配信。

## ■ 模図かずお

1936年9月3日和歌山県生まれ、奈良県育ち。1955年、18歳で「森の兄妹」と「別世界」でプロデビュー。

「ねこ目の少女」や「へび少女」などのホラー作品で恐怖漫画の第一人者として知られるようになる。

1967年に発表した「猫目小僧」は1976年にTVアニメ化をされている。

1975年「漂流教室」ほか一連の作品で小学館漫画賞を受賞。一方で1976年に発表した「まことちゃん」でシュールなギャグが大ブレイクし、“グワシ”ポーズが社会現象となった。

その後も「おろち」「わたしは真悟」「14歳」など、時代を先取りした独創的な作品を次々に発表、その多くが映像化されている。

創作活動と並行して活発に音楽活動も行っており、1975年にLP「闇のアルバム」、2011年セカンドアルバム「闇のアルバム2」をリリース。

現在は腱鞘炎悪化のため休筆中だが、タレント、音楽家として稀有な独創性を発揮し続けている。

## ■ 会社概要

株式会社ソニー・デジタルエンタテインメント・サービス

ホームページ : <http://sonydes.jp/>

広報担当 : セールス&マーケティング部 野呂

E-mail : [marketing@sonydes.jp](mailto:marketing@sonydes.jp)